

戦没者 2,877 人の御霊に追悼の意 筑西市戦没者追悼式

秋晴れとなった10月15日、市民会館で、筑西市戦没者追悼式を挙行しました。これは、先の大戦で尊い命を失った筑西市関係の戦没者の御霊みたまに対し追悼の意を捧げるとともに、その遺族に深い敬意を表し、市民をあげて恒久平和を祈念、市勢発展への決意を新たにすることを目的に開催したものです。当日は、亡くなった軍人・軍属などの遺族や来賓など約600人が参列。富山県三市長による式辞、来賓による追悼の辞に続き、遺族会各地区代表者などによる献花を行いました。



水は地球の宝物... 第20回全国浄化槽大会の標語で最優秀賞

浄化槽の日実行委員会が主催し、環境省と国土交通省の後援により毎年開催している『全国浄化槽大会』にあわせて行われた標語募集で、五所小学校6年の日比野崇くん（かみひろ）（上平塚かみひら）が、最優秀賞を受賞しました。作品は『水は地球の宝物 みんなで広めよう 浄化の心』。昨春秋に社会科の授業の一環として、五所地区内にある浄化槽を製造している工場を見学、その時に感じたことを標語で表現しました。「工場を見学して、水と環境の大切さがわかりました。最優秀賞をもらえてうれしいです」。



柔道を通じて人を育てる 筑西市柔道連盟に文部科学大臣表彰

筑西市柔道連盟（会長 池内廣之さん・68歳）が、生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受けました。同連盟は、昭和40年創設の下館市柔道連盟時代から、柔道の普及や青少年の健全育成に貢献。昭和45年の下館武道館竣工以降は同館を拠点に、子どもから青年までが参加して稽古けいこを続けています。また昨年は、地域でスポーツ活動を行う35歳以下の選手が参加する全国青年大会の柔道で優勝。池内会長は、「柔道を通じて立派な人間を育てること、人づくりが目標です」と語ってくれました。



筑西あらかると

暮らしを考え まちを知りたい みんなの広場



おでかけガイド

詳細は変更になる場合があります。事前に確認しておでかけください。

11/26 (日) 劇団四季ミュージカル「異国の丘」

栃木県総合文化センター [宇都宮市TEL 028-643-1010] 開演午後6時30分 S席 8,400円 A席 7,350円 B席 6,300円 C席 4,200円 昭和の歴史を問い直す衝撃のミュージカル。

12/10 (日) ケルティック・クリスマスコンサート

つくばカピオホール [つくば市TEL 029-851-2886] 開演午後6時 全席指定 4,500円 冬の風物詩恒例のケルト音楽フェスティバルがつくばに上陸。



12/6 (水) レニングラード国立バレエ「くるみ割り人形」

茨城県立県民文化センター [水戸市TEL 029-241-1166] 開演午後6時30分 S席 12,000円 A席 10,000円 B席 8,000円 C席 6,000円



12/16 (土) 筑波大学混声合唱団定期演奏会

つくばノバホール [つくば市TEL 090-1203-4255] 開演午後2時 前売 400円 当日 500円 団伊玖磨「筑後川」 高田三郎「水のいのち」ほか



12/25 (月) 津軽三味線「吉田兄弟」全国ツアー 2006

茨城県立県民文化センター [水戸市TEL 029-241-1166] 開演午後6時30分 S席 6,500円 A席 5,500円 和太鼓・ヴァイオリン・尺八との豪華競演。2006年吉田兄弟の集大成がここに。

1/20 (土) コンチェルト・コペンハーゲン演奏会

つくばノバホール [つくば市TEL 029-852-6470] 開演午後3時 A席 3,500円 B席 2,500円 C席 1,500円 北欧を代表する古楽器オーケストラ



ぼくたち・わたしたち 1歳になりました

わが家のアイドル



ひらやま あいり ちゃん
平山 愛梨 ちゃん
11月1日生(女方)



ひらた けん と くん
飛田 賢人 くん
11月5日生(玉戸)



やしま ゆう と くん
谷島 悠斗 くん
11月5日生(直井)



くまき けい た くん
熊木 佳汰 くん
11月6日生(市野辺)



さくま ゆま ちゃん
佐久間 柚風 ちゃん
11月6日生(岡芹)



やまぐち みき と ちゃん
山口 未聖 ちゃん
11月6日生(みどり町)



あめみや かつ き くん
雨宮 和希 くん
11月8日生(蒔田)



いしかわ とみこ ちゃん
石川 智子 ちゃん
11月8日生(茂田)



しらい ちか ちゃん
白井 千夏 ちゃん
11月8日生(山崎)



こいけ こみ み ちゃん
古池 心美 ちゃん
11月8日生(谷部)



もりもり かな ちゃん
檜森 幸奈 ちゃん
11月8日生(女方)



ながつな たくと くん
長濱 祐太 くん
11月9日生(玉戸)



たまだ みく ちゃん
豊田 くるみ ちゃん
11月10日生(覆生)



かみむら あい と くん
吉木 愛斗 くん
11月11日生(下中山)



しばた まこと ちゃん
柴田 真生 ちゃん
11月13日生(下中山)



ささき れいな ちゃん
佐々木 玲奈 ちゃん
11月14日生(向川澄)



いぬえ すず ちゃん
尾竹 梓 ちゃん
11月16日生(市野辺)



ひろせ みく ちゃん
広瀬 未来 ちゃん
11月16日生(海老江)



いけはら りか ちゃん
池羽 梨里花 ちゃん
11月17日生(玉戸)



おつか こな み ちゃん
大久保 こな ちゃん
11月18日生(玉戸)



うえの まこと くん
上野 真輝 くん
11月18日生(関本下)



おしま なつき くん
大島 温希 くん
11月25日生(桑山)



ひろせ みく ちゃん
廣瀬 未羽 ちゃん
11月25日生(鷹場町)



すえのり しげ くん
瀬尾 寿仁 くん
11月30日生(倉持)

平成19年1月生まれのお子さんの写真を募集しています。
写真裏面に①お子さんの氏名・ふりがな・生年月日・性別 ②保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記し、11月30日(木)までに市広報広聴課へ。応募者多数の場合は抽選とします。

下駄新編

第2回 筑西市



▲能・杜若（かぎつばた）観世榮夫氏ほか

▼仕舞・三輪（みわ）梅若修一氏ほか



▼仕舞・藤戸（ふじと）岡田晃一氏ほか





◀▼能・恋重荷（こいのおもに）梅若吉之丞氏ほか



平成元年に旧下館市の市制施行35周年記念事業として開催して以来、秋を彩る風物詩として毎年実施してきた下館新能。昨年『筑西市下館薪能』と名称を改め、本年は10月8日に開催しました。華麗な装束を身にまとい、舞や謡で幽玄の世界をあらわす能。滑稽な仕草や表情で、観る者を惹きつける狂言。梅若吉之丞氏や観世榮夫氏、野村萬齋氏という当代一流の能楽師・狂言師が繰り広げる伝統の舞台が、筑西市民会館を埋めた満員の観客を魅了しました。

能 恋重荷
 狂言 柿山伏
 能 杜若
 仕舞 三輪
 藤戸



狂言・柿山伏（かきやまぶし）野村萬齋氏ほか ▶▶





新治小学校

児童数522人



おちあい まお
落合 麻緒

私の夢は、保母さんになることです。小さな子が大好きです。筑西市をあいさついっぱい
のまちにしたいです。



おおばやし かな こ
大林 可奈

将来の夢はアナウンサーになること。情報を正しく伝えて、子どもやお年寄りが安心して住めるまちにしたいです。



そでやま たけし
袖山 武志

将来の夢は、料理屋の店長になること。筑西市をごみ一つ落ちていない、きれいなまちにしたいです。



おぎわら ゆうと
荻原 悠斗

僕の将来の夢は、みんなの意見を聞いて発明すること。将来の筑西市は、自然を大切にす
るまちにしたいです。



なかじま ともひろ
中島 友寛

多くの将来の夢は、水泳選手になること。将来の筑西市は緑いっぱいで、楽しいまちであ
ってほしいです。



ながもり はつき
永盛 葉月

私は小さい子が好きなので保育士になりたい。子どもから大人まで、豊かにすごせるまちに
なってほしいです。



たなか あつこ
田中 温子

わたしは将来、ピアニストになりたい。良い曲をみんなにたくさん聞かせてあげて、まち全体を元
気にしたいです。



はやせ あゆみ
早瀬 歩

私の夢はエレクトーンの先生になること。将来は、市民みんなが心
はずむような演奏を
したいです。



ながもり ゆうき
永盛 佑樹

多くの将来の夢はサッカー選手になること
です。筑西市が平和で活
気があるまちになっ
た
らいいな。



しらいし だいき
白石 大樹

多くの将来の夢は、自
分のまちをきれいにす
ること。ごみをなくし
て、きれいなまちにし
たいです。

中小学校

児童数275人

県域デジタル放送の 視聴エリア拡大を

一昨年の秋から、NHKの県域デジタルテレビが始まりました。これまで、全国で唯一、茨城県には県民向けのテレビ放送局がなく、朗報に胸を躍らせました。

ところが、実際に放送が始まって、視聴エリアは限定されてお
り、2年以上が過ぎた今でも、私たちの住む筑西市では視聴することができません。

新聞のテレビ欄やNHK水戸放送局が出しているチラシを見ると、見てみたい番組がたくさん掲載されています。また、筑西市に関連した放送もあるようです。

そこで、市役所にお問い合わせがあります。一日も早く、筑西市でも放送が視聴できるように、放送エリアの拡大をNHK水戸放送局に対して要望していただけないでしょうか。
(匿名)



日ごろの暮らしの中で思っていることを投稿してください。匿名可。広報広聴課まで

おたより

スナップ

ゴールめざしてかんばんぞ

ウォーキングフェスタ in 小貝川

今年、昭和61年の小貝川大水害からちょうど20年。国土交通省では、その後の河川改修事業の取り組みを多くの市民に見てもらおうと、10月14日、ウォーキングフェスタを開催しました。出発地点の下岡崎近隣公園には約300人の参加者が集まり、目的地の母子島遊水地をめざしました。美しい筑波山と穏やかに流れる小貝川を見ながら、参加者は楽しい秋の一日を過ごしました。



少年の主張茨城県大会で県知事賞を受賞
仁平裕一くん (中館)



『苦しい時は前進している』と、
けがをした日々が教えてくれました

「運動は禁止です」。腰の不調を感じて行った病院で医者にこう言われた時から、僕の「苦しい時」は始まりました。僕は野球部に所属しています。こんな自分でも何かできることがあるはずだ、みんなのためにがんばろうと、用具室の掃除をしたり、道具の整備をしたり、考えられることを僕なりに一生懸命やりました」と、腰椎分離症に苦しんだ日々について聴衆に語ったのは、下館中学校3年の仁平裕一くん。仁平くんは、9月

30日に牛久市中央生涯学習センターで開催された『少年の主張茨城県大会』に出場し、応募者1万7千人の頂点、県知事賞を受賞しました。主張の後半では仁平くんが、自分を応援してくれる仲間や家族の存在に気がつく場面が語られました。「グラウンドで走る仲間が冷たい水を手渡すと、みんなが『ありがとう』と言うのです。毎日毎日仲間たちは言ってくれました。自分が縁の下の力持ちだと思っていたけれど、僕がみんなに支えられていたのです」それに気がついたことは、彼にとつてひとつの前進でした。「苦しい時は前進している。この言葉の意味が、今僕にはわかりました。これからもっと苦しいことがあるだろうけれど、逃げないで強い心を持ち生きていこうと思います」。その後グラウンドに立てるようになった仁平くん。この夏3年生最後の大会では、見事3塁打を放ちました。

「ち生きていこうと思います」。その後グラウンドに立てるようになった仁平くん。この夏3年生最後の大会では、見事3塁打を放ちました。

ぶらり

真岡鐵道の旅

ましこ
益子駅



下館駅を出発して45分、SLの停車駅「益子駅」に到着します。益子駅のある益子町は、「瀬戸」「有田」と並ぶ国内屈指の焼物の町です。春と秋に開催される陶器市には全国から約50万人の観光客が訪れます。駅舎は観光客を迎える玄関口として、平成10年に改築されました。構内の大きな焼物と時計台が印象的で関東の駅100選の一つにも選ばれています。また、駅には観光協会や保健センター、福祉デイサービス施設が併設され、地域の人たちにも利用されています。

された、『城内坂通り』の街並みが見えます。この通りには、趣のちがう約30の陶器店が軒を並べています。近年の都市計画によって歩道やトイレなど、街並みが美しく整備されました。軒先に並ぶ焼物を見ながら、ゆったりと散策を楽しむことができます。

伝統の益子焼に触れる

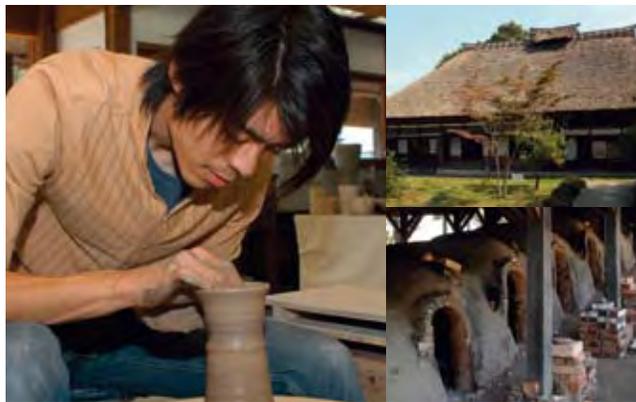
城内坂通りから細い路地を北へ入ると陶芸の丘が現れます。この丘の上にあるのが『陶芸メッセ・益子』。まず訪れたいのが『陶芸美術館』。ここには、筑西市出身の陶芸家・板谷波山の教え



益子駅 大正2年開設。焼物の里、益子町の玄関口として多くの観光客を出迎える。



- 茂木
- 天矢場
- 笹原田
- 市塙
- 多田羅
- 七井
- Vol.7 ましこ 益子
- 北山
- 西田井
- 北真岡
- 真岡
- 寺内
- 久下田
- ひぐち
- 折本
- 下館二高前
- 下館
- は SL 停車駅



陶芸メッセ・益子 メインとなる「陶芸美術館」には人間国宝の故濱田庄司の作品を展示。敷地内の陶芸工房では陶芸体験もできます。

を受けた、人間国宝の故濱田庄司の作品と益子在住の作家たちの優れた作品が展示されています。江戸時代末期から始まったとされる益子焼、やや厚手でなめらかな肌触りが特徴的で、水瓶や土瓶など日用の道具として使われていた陶器を芸術の域まで高めた、作家たちの作品を鑑賞することができます。

また、敷地内には移築された『旧濱田庄司邸』と氏が生前愛用していた登り窯なども復元されています。隣接する陶芸工房では、ロクロを使った本格

秋色 益子陶器市

11月2日(木)～6日(月)



■益子町観光協会 / Tel 0285-70-1120

的な陶芸を体験することができます。土に親しみながら、自分だけの湯飲みやコーヒーカップを作ってみませんか。

陶器市に出かけよう

現在、益子町には約380の窯元と50の陶器店があります。若手からベテランまでここに窯を構える陶芸家も多く、その作品は多種多様です。この益子焼を気軽に、そして安く手に入れられるのが春と秋に開催される『陶器市』です。伝統的なものからカップや皿などの日用品、美術品まで販売されます。また、新進の作家や窯元の職人さんたちとも会話が楽しめるチャンスです。秋の一日、陶芸の町、益子に出かけてみませんか。

■このコーナーを担当したのは、

わたなべ ちよこ さん (黒子)
渡邊 千代子さん (黒子)

『梨』と『梨の里』にかける郷土愛

平成16年5月、旧関城町が開講した『生涯学習地元学講座』の卒業生が、「楽しみなから地域のために、自分たちの手でできることを始めたい」と、『梨想の会』（横島正利会長・関本肥土）を結成しました。同会は、まちを大きな公園に見立て、梨の里らしいまちづくりを演出しようと、熱い思いを込めてさまざまな活動を行っています。

イメージアップへのあゆみ

今年3月、筑西市の『春の花』に、梨の花が選ばれました。鬼怒川流域に位置する県西地区は、昔から梨の栽培が盛んで、特に関城の梨は他地域に先駆けて県銘柄産地の指定を受けています。

関城梨の発祥は江戸時代後期にさかのぼり、西村七郎平と館野定四郎により栽培技術が伝えられたといわれています。その子孫にあたる関本上の西村恒さん宅には『関本梨初生之地』の碑が建っています。初めは観賞用の庭木と実益とを兼ねて栽培していたものを、長い年月をかけて改良。今日のおいしい『幸水』『豊水』などが完成し、生産量も誇れるものに発展してきました。

梨想の会が、梨の里らしいまちづくりのひとつとして取り組んだ活動が、市道に親しみやすい愛称をつけることです。市の協力を得て、一般公募を実施。関城地区の中央を東西に走る道路には『ペアーロード』（梨の道）、同じく中央を南北に走る道には、その昔飛行場があったことから『飛行場通り』、関城跡

の通りを『関城通り』、船玉古墳から関城支所へ続く通りを『船舟新道』とし、各沿線に愛称の入った看板を設置しました。今後、各市道にその土地に縁のある愛称をつけたいとのことでした。

また、梨の文化と伝統を未来につなげるため、もっと子どもたちに梨の花や実の育つ姿に関心を持って欲しいと、関城幼稚園、関城保育園、関城地区の小中学校・教育施設、関東鉄道常総線黒子駅に、観賞用として4〜5本ずつ自然樹形の梨の木を植えました。さらに、『梨の花まつり』や『梨の花のある風景写真コンテスト』など、梨の消費拡大のための事業を計画中とのことでした。

大きく広がる夢への挑戦

梨想の会は、筑波山周辺の7市で組織する『美しいまち、みちづくりパートナーシップ』の構成団体としても活動しています。また、道路の愛称募集などの活動が評価され、昨年からはじめた『シーニック・バイウェイ』（風景街道）構想に参画することになりました。会員の黒石貞吉さん（関本分中）は、「今

回このような広域での構想に参画できることをうれしく思います。さまざまな団体との連携の中で、その良い面をうまく吸収して自分たちの活動に取り入れ、今後には役立てていきたいですね」と語ってくれました。取材を進めていくなかで、梨の里らしい雰囲気づくりに取り組む会員の皆さんの姿を見て、夢への挑戦が大きく広がっていくのを感じました。今後、私たちのふるさと筑西市が、梨の里としてますます繁栄することを心から願っております。



▲関東鉄道常総線黒子駅前に植えた梨の木を囲む梨想の会の会員